

平成24-25年度自己評価報告書

岐阜市立女子短期大学

岐阜市立女子短期大学は、平成 21 年度に認証評価を受け、歴史を刻んだ「岐女短」の伝統のうえに、さらなる充実・発展を期して、教育・研究、学生支援、社会連携などの諸活動を行ってきました。今日、短期大学は「四大化」の大きな流れのなかで、改めてその存在意義を自己認識しながら、不断の改革に努めることを強く求められています。「四大化」の問題は、設置者である岐阜市の意向に大きく依存するだけに、本学独自では判断しにくい課題ですが、この問題の検討も避けては通れない段階にあらうかと思われま

す。本学では、将来課題としての「四大化」の問題の検討を独自に進めるとともに、現にある短大の需要に对应、現に学んでいる学生たちの教育と学園生活の支援、さらには進路支援などの諸課題に真摯に取り組んでいます。この自己評価報告書は、こうした私たちの日々の活動の自己点検と自己評価を集約したものです。なお、この報告書は平成 25 年度に関する記述、資料について集約などの事情から部分的にしか言及していないことをお断りしておかざるをえません。

7 年に 1 度の認証評価制度も、第 2 サイクルに入り、本学も平成 28 年度には再び認証評価を受けることとなります。そこで、今回の自己点検・評価は、認証評価機構のひとつである大学基準協会の短期大学評価マニュアルを参考に、ほぼその基準・項目にしたがって作成してみることといたしました。自己評価活動にはさまざまな方法や視点があることは十分に承知のうえ、あえて総体的な評価を試みています。そのため、事実関係や経緯などについて、以前の自己評価報告書の記述を踏襲している場合があることをお断りしておかなければなりません。平成 26 年度（2014 年度）には、外部評価も受け、そこでは教育活動や学生支援の取組を中心に学外の方々の評価をお願いすることを検討しております。今回の自己評価報告書もまた多くの課題を明らかにしており、すでにいくつかの課題では具体的な対応や改善措置について検討を深めていますが、この外部評価の結果をその後の改革の事業に反映させ、必要な改善措置を講じ、改革を推進することとしたいと考えております。

この自己評価報告書は、本学の Web サイトに公開いたします。CD-ROM 版も用意し、必要な場合には簡易冊子にでも配布できるよう準備をしております。岐阜市の市議会や関係部局、学生の出身高校、進路先の企業等、さらには短期大学関係者など多くの方々にお読みいただき、ご意見、ご批判、ご提言などをいただければと願っています。岐阜の地に 67 年間にわたって根を張ってきた岐女短をさらに輝く存在へとなるよう、ご指導、ご支援のほどよろしく願いいたします。

平成 26 年（2014 年）3 月

岐阜市立女子短期大学

学長 竹森 正孝